

iKO Project

魅力ある学校づくり ～iKO プロジェクト～

計画と達成基準

1

生徒一人ひとりの進路実現

学ぶ力の育成と学力の向上
AL型授業を取り入れた思考力・表現力を育成する授業実践
学びの支援体制づくり(環境整備・教育相談・面接・懇談等の充実)

教務課	生徒課
進路課	厚生課

2

地域と連携したグローバル人材の育成

統一した指導による規律ある生活態度の育成
地域に学ぶ「総合的な学習の時間」の充実・発展によるキャリア教育の推進
英語力・コミュニケーション力・プレゼンテーション力の向上

教務課	地域連携
生徒課	園芸科
進路課	英語科

3

生徒会・農業クラブ・家庭クラブ活動の活性化

部活動及び生徒会委員会活動の充実
生徒による自主的運営と指導体制の充実
ホームページの充実等による積極的な情報発信

教務課	園芸科
生徒課	家政科

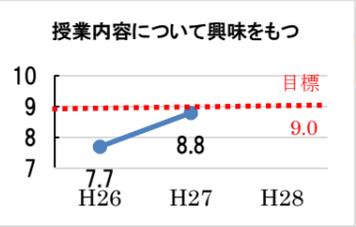
1 生徒一人ひとりの進路実現

学ぶ力の育成と学力の向上

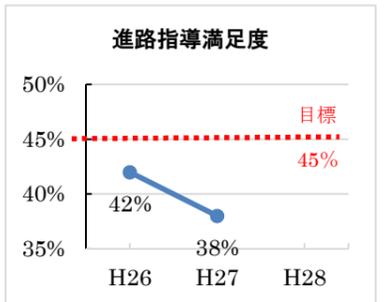
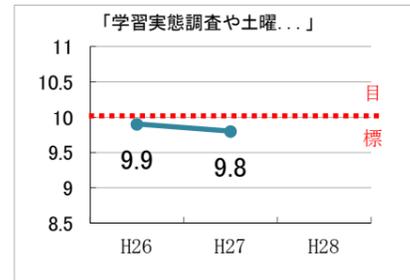
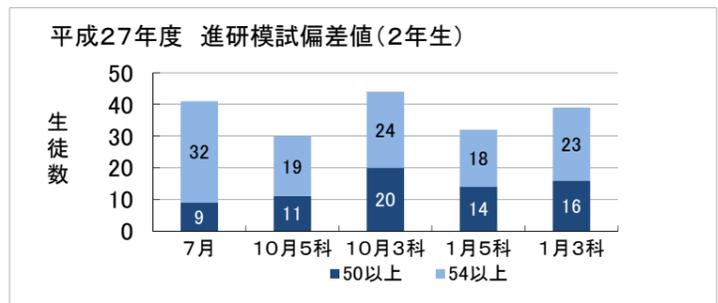
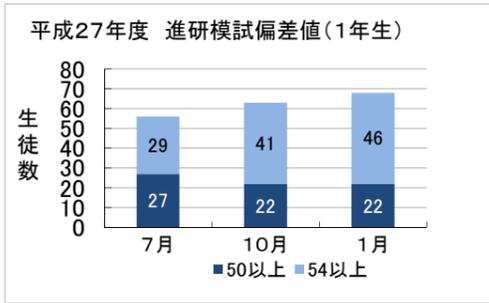
自己評価アンケート

評価指数の計算方法 (よくあてはまる割合)×2+(ややあてはまる割合)×1+(あまりあてはまらない割合)×(-1)+(まったくあてはまらない割合)×(-2)
 ⇒ (最高) 20.0、(最低) -20.0

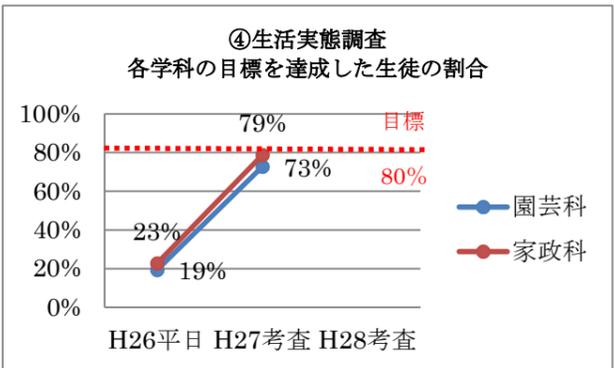
担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)
教務課	普通科 ○生徒が主体的に学習に取り組むことを主眼とした授業改善を全教員で行い、公開授業を一人1回は実施する。	普通科 ○ 授業評価アンケート 「学習内容に興味をもち、意欲的に授業に取り組むようになりましたか。」 全教科評価指数平均9以上 (H27 「授業を受けて、授業内容について興味をもつようになりましたか。」 指数平均8.8)



担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)
進路課	普通科 ①学習習慣(生活習慣)の定着を図るために、学習実態調査や学習記録表(GW、長期休業中)などを活用する。 ・進路目標の設定とその実現のための計画立案 ・4点固定の徹底(起床、帰宅、学習開始、就寝の時刻の固定) ・生活改善の必要な生徒への指導 ②基礎学力を定着させるために、授業を基本として、土曜活用、補習、休日学習会等を活用する。 ・個々の生徒の習熟に応じた課題の与え方 ・上位層から下位層に対応した授業展開の工夫 ・添削等の個別指導 など	普通科 ①1日の 学習時間2時間未満の生徒数 1年20名以下 (H27 26名→27名→18名) 2年20名以下 (H27 22名→26名→16名) 学年プラス2時間の学習時間達成率 3年生は40%以上 (H27 第2回36%) 2年生は25%以上 (H27 第3回18%) 1年生は40%以上 (H27 第3回39%)にする。 自己評価アンケート 「学習実態調査や土曜活用、学習会を通して学習習慣が身に付いている。」 生徒評価指数1.0以上 ②国公立大学志望者の 合格率5.5%以上(在籍数の30%) を目標とする。 (最近5年間の平均は、合格率54.6%、在籍数の30.2%) 1年生では、国公立大学に進学できる学力を持つ生徒(進研模試における全国偏差値54以上)およびそれに続く層(全国偏差値50以上)を増やす。 2年生は1年1月時の維持 を目標とする。(H27 1年54 7月29名→1月46名 50 7月56名→1月68名) 3年生は11月マークで全国偏差値4.8以上を30名以上 にする。(H27 16名)(2年54 1年1月27名→1月18名 50 1年1月47名→1月32名) ○ 卒業生アンケート 「満足しているところはどんなところですか」 進路指導45%以上



担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)																					
教務課 進路課	専門科 ①漢字テスト、計算力テストの年間平均点を各クラスで掲げ、お互い励ましながら目標を達成する。 ②学期毎に最優秀者を発表する。 ③個人に優秀者シール台紙を配布し、漢字100点、計算力90点以上に優秀者シールを貼らせ、意識の向上を図る。 ④第2・4・5考査期間中に生活実態調査を実施し、考査に向けての学習意欲を高める。	専門科 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th><漢字テスト></th> <th><計算力テスト></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>E1</td><td>70</td><td>60</td></tr> <tr><td>E2</td><td>73 (昨年 72.0)</td><td>75 (昨年 73.3)</td></tr> <tr><td>E3</td><td>85 (昨年 83.3)</td><td>85 (昨年 81.2)</td></tr> <tr><td>K1</td><td>80</td><td>80</td></tr> <tr><td>K2</td><td>90 (昨年 84.3)</td><td>88 (昨年 86.6)</td></tr> <tr><td>K3</td><td>92 (昨年 96.7)</td><td>90 (昨年 78.9)</td></tr> </tbody> </table> ①②昨年度の平均点を上回る平均を目標とする。 ③ごほうびシール獲得者数(のべ) 漢字: クラス人数の60% 計算力: クラス人数の70% ④3回の平均学習時間 園芸科: 2.0時間以上70% (昨年 72.7%) 家政科: 2.5時間以上70% (昨年 78.8%)		<漢字テスト>	<計算力テスト>	E1	70	60	E2	73 (昨年 72.0)	75 (昨年 73.3)	E3	85 (昨年 83.3)	85 (昨年 81.2)	K1	80	80	K2	90 (昨年 84.3)	88 (昨年 86.6)	K3	92 (昨年 96.7)	90 (昨年 78.9)
	<漢字テスト>	<計算力テスト>																					
E1	70	60																					
E2	73 (昨年 72.0)	75 (昨年 73.3)																					
E3	85 (昨年 83.3)	85 (昨年 81.2)																					
K1	80	80																					
K2	90 (昨年 84.3)	88 (昨年 86.6)																					
K3	92 (昨年 96.7)	90 (昨年 78.9)																					



担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)
生徒課	○家庭での学習時間確保を考えて生徒代表者と話し合いの場を設け、生徒の携帯電話・スマートフォンの使用時間について実態把握(アンケート)を実施し、話し合わせて使用時間の設定をさせ、守らせるように 生徒総会・全校集会・学年集会などで生徒から呼び掛けさせる。	生徒課アンケート 「スマートフォン等を[平日3時間以上利用する]」 生徒の割合が25%以下

AL型授業を取り入れた思考力・表現力を育成する授業実践

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)													
教務課	普通科 ①授業改善教員研修会の実施 ②AL 型授業実践校内研究会の立ち上げと校内研究授業の実施	普通科 ①授業改善教員研修会を 実施した。 ②・教育課程委員会と連動した研究会を組織し、各教科が取り組むAL型授業の検討と 実施ができた。 ・校内研究授業を 5回以上実施した。 ・ 授業評価アンケート 「考えたり、話し合う時間があるなど、生徒が活動する機会のある授業が多い」 評価指数 8.5 以上	生徒が活動する機会のある授業・・・ <table border="1"> <caption>生徒が活動する機会のある授業・・・</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>評価指数</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>7.8</td> <td>8.5</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>8.5</td> <td>8.5</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>8.5</td> <td>8.5</td> </tr> </tbody> </table>	年度	評価指数	目標	H26	7.8	8.5	H27	8.5	8.5	H28	8.5	8.5
	年度	評価指数	目標												
H26	7.8	8.5													
H27	8.5	8.5													
H28	8.5	8.5													
教務課	専門科 ①グループワークや思考ツールを利用した授業を年1回以上実施する。 ② 各教室に「めあて」「まとめ」カードを設置し、授業で活用する。 ③生徒用教材（思考ツールの利用方法）を作成し、授業で実践する。	専門科 ①思考ツールを利用した授業を年 1回以上実施する。 12人(19人中)以上(60%以上) (H27: 7人/18人) ②③ 自己評価アンケート 「考えたり、話し合う時間があるなど、生徒が活動する機会のある授業が多い」 評価指数 7.0 以上													

学びの支援体制づくり(環境整備・教育相談・面接・懇談等の充実)

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)													
厚生課	①厚生委員会の活動を通じて、生徒が主体的に清掃活動に取り組み、整備された学習環境を維持できるようにする。	①・ 自己評価アンケート 「清掃活動に主体的に取り組んでいる」 生徒評価指数南校地で10以上 (H27: 全体 10.7, 専門 8.8) ・ 自己評価アンケート 「校内は清掃が行き届いており、きれいな状態である」 生徒評価指数 8.0 以上 (H27: 7.7)	自主的な清掃活動 <table border="1"> <caption>自主的な清掃活動</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>評価指数</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26専</td> <td>8.9</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>H27専</td> <td>8.8</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>8.8</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>	年度	評価指数	目標	H26専	8.9	10	H27専	8.8	10	H28	8.8	10
	年度	評価指数	目標												
	H26専	8.9	10												
H27専	8.8	10													
H28	8.8	10													
②特別支援教育委員会をケース会議として校内体制に位置づける。	②・必要に応じて委員会を開催し、 具体的な対応策を決定することができた。 ・特別支援教育の視点を含めた健康観察を行い、 生徒の看取りに役立てることができた。														
③県内の相談機関との連携を進める。	③県内の相談機関を訪問し、それぞれの特色等を一覧表にまとめて 情報提供することができた。	清掃が行き届いている <table border="1"> <caption>清掃が行き届いている</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>評価指数</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>8.4</td> <td>8.0</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>7.7</td> <td>8.0</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>7.7</td> <td>8.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	評価指数	目標	H26	8.4	8.0	H27	7.7	8.0	H28	7.7	8.0	
年度	評価指数	目標													
H26	8.4	8.0													
H27	7.7	8.0													
H28	7.7	8.0													

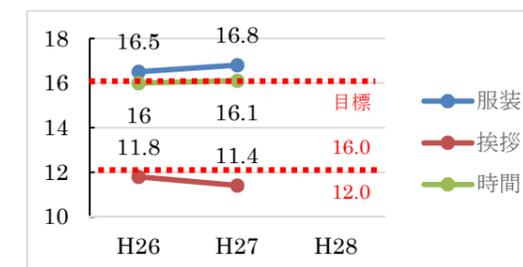
2 地域と連携したグローバル人材の育成

自己評価アンケート

評価指数の計算方法 (よくあてはまる割合)×2+(ややあてはまる割合)×1+(あまりあてはまらない割合)×(-1)+(まったくあてはまらない割合)×(-2)
 ⇒ (最高) 20.0, (最低) -20.0

統一した指導による規律ある生活態度の育成

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)
生徒課	①統一した、服装指導を徹底する。日常・集会などでしっかりと声掛けをし、守れてない生徒に対しては個人指導をする。	① 自己評価アンケート 「服装を校則通りに着用している」 生徒評価指数 16 以上
	②学校内外で気持ちの良い挨拶ができるよう、 毎月 10 日を中心 に挨拶運動を実施する。	② 自己評価アンケート 「自分から、挨拶するよう心がけている」 生徒評価指数 12 以上
	③遅刻数を減少させるため、遅刻の多い生徒は個人指導をする。また、欠席との関連関係も調べる。	③ 自己評価アンケート 「始業時間や下校時間を守ることができている」 生徒評価指数 16 以上 ・遅刻数：両校地統一した基準で 450 回以内 (H27：560 回)



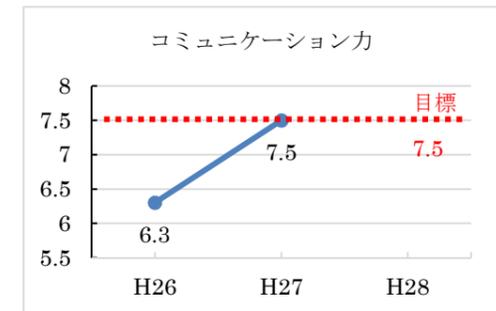
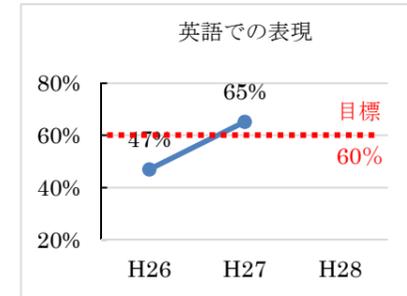
地域に学ぶ「総合的な学習の時間」の充実・発展によるキャリア教育の推進

当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)
進路課	普通科 ○企業説明会(1年)、企業訪問(2年)の実施。事前・事後の指導の充実を図り、進路選択に役立たせる。	普通科 ○事後アンケート 「クラスでの報告会で発表をしたり、友人の発表を聞いたりすることで進路についての考えをより深めることができた。」 肯定的意見 90%以上 (H27：94.1%)
	○井原市や、井原町の地域イベントに井原高校として参加するよう生徒に紹介する。	○自己評価アンケート 「今、住んでいるか、通学している地域の行事に参加している」「している」割合 60%以上

地域連携

英語力・コミュニケーション力・プレゼンテーション力の向上

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)
<h3>英語科</h3>	<p>普通科</p> <p>英語力の向上を図る</p> <p>① 1年次終了までに英検準2級、2年次終了までに英検2級の合格を目指した指導を行う。</p> <p>② 英語でコミュニケーション活動を行う前段階の指導に力を入れる。</p> <p>③ 英語でコミュニケーションを図る姿勢を培う授業研究を行う。</p> <p>④ 地域の英語スピーチコンテストや国際交流行事への積極的な参加を呼びかける。</p> <p>⑤ 地域からの指導者を招聘し、英語コミュニケーション力の向上を図り、各種コンテストに参加する。</p>	<p>普通科</p> <p>① 1年次終了時点 準2級合格者30名以上 (H27: 27名) 2年次終了時点 準2級合格者50名以上 (H27: 42名) 3年次6月 準2級合格者60名 (H27: 56名) 2級合格者が7名以上 (H27: 5名)</p> <p>② 前年に比べ生徒の英語での活動時間を増やすことができた。</p> <p>③ 自己評価アンケート 「学習した英語を用いて自らを表現できる機会を得ることができた。」 1年次 「非常にあてはまる」+「よくあてはまる」 60%以上 (H27: 65.2%)</p> <p>④⑤ 各種コンテストでの入賞。 (H27: 英語ディベート大会県3位)</p>
<h3>教務課</h3>	<p>普通科</p> <p>○ディベート LHR を企画・実行する。</p>	<p>普通科</p> <p>○ 自己評価アンケート 「LHR, 授業などを通じてコミュニケーション力が身につけている」 評価指数 7.5 以上 (H27: 7.5)</p>
<h3>園芸科</h3>	<p>○コミュニケーション力・プレゼンテーション力の向上するために、地域交流授業や各種行事、地域ふれあい市において、グループワークや発表会、事前指導の充実を図り、スキルアップを目指す。</p>	<p>○ 専門科生徒アンケート 「行事や交流の際、相手と話し合いを深めたり、自分の意見を発表できたりした」「できた」生徒 80%以上</p>



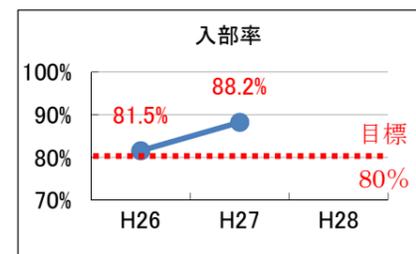
3 生徒会・農業クラブ・家庭クラブ活動の活性化

自己評価アンケート

評価指数の計算方法 (よくあてはまる割合)×2+(ややあてはまる割合)×1+(あまりあてはまらない割合)×(-1)+(まったくあてはまらない割合)×(-2)
 ⇒ (最高) 20.0, (最低) -20.0

部活動及び生徒会委員会活動の充実

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)
教務課	○図書委員会主催読書会や読書LHRを両校地で2回以上実施する。 普通科 ①読書週間を設定し、さわやかTIME内に 朝読書を実施 する。 ②生徒が関わる図書だよりの発行回数を増やす。	○図書委員会主催読書会、読書LHRの実施回数 年2回以上実施した。 (H27: 2回) 普通科 ①読書週間中での 貸し出し冊数がH27を上回る (H27: 89) ②図書だよりの 発行回数8回以上 (H27: 北校地7回) ② 自己評価アンケート 「読書などのために、図書室の本をよく借りる」 H27を上回る (H27: -10.5)
生徒課	①生徒会・各種委員会活動を活性化させる。 [体育祭・いろは祭等を盛り上げる][挨拶運動などに積極的に参加する] ②生徒会活動を生徒に知らせるため、 生徒会・委員会新聞の発行を行う。 ③競技力向上を図るため、 部活動日(毎週金曜日)を設け て部活の活性化を図る。 ④1学期に部長会を実施する。	① 体育祭・いろは祭後のアンケート [積極的・参加できた] 85%以上 (H27: 83.1%) ②内容を充実し、 年間3回発行 (H27: 5回発行) ③④・部活動入部率を向上・維持させる。 入部率80%以上 ・目標を 県ベスト16以上 とし、それを達成した。
厚生課	①厚生委員会では、両校地において英語表現を用いるなど工夫した清掃ポスターを作成する。 ②厚生委員会で清掃状態を確認し、重点箇所を全校生徒に伝える。	①両校地において ポスターを作成し、校内掲示することができた。 (H27 北校地のみ掲示) ②校内の清掃状況点検を 年2回以上実施し 、清掃重点箇所の 環境整備を呼びかけた。



生徒による自主的運営と指導体制の充実

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)
園芸科	生徒による自主的運営と指導体制の充実 ① 農業クラブ新聞(生徒)発行 ② H29年全国大会に向けた生徒集会や役員会を行う。	① 農業クラブ新聞をHPにアップした。 ② 全国大会に向けての集会や役員会を年間5回開催した。
家政科	家庭クラブ員全員が交代で、家政科の学習内容や家庭クラブ活動について情報発信する。 ① 昇降口のケースに、グループごとに協力して掲示物を作成する。 ② 掲示した内容をHPにアップする。	① 昇降口のケースに活動を毎月掲示し、その内容をHPにアップした。(年間9回以上) ② 家庭クラブ反省アンケート 「家庭クラブ活動全体について、活動がよくできた」 肯定的回答80%以上

ホームページの充実等による積極的な情報発信

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)																				
<h3>教務課</h3>	<p>○HP の更新作業が可能な教員を増やし、校内の組織的な更新体制が構築できるよう支援する。</p>	<p>○情報係、WEB 係の合同係会を組織し、HP 更新状況に係る校内連絡調整会議を定期的に行き、最新の情報が見える HP になる。(H27：更新一部不十分)</p> <p>○保護者自己評価アンケート</p> <p>「HP が頻繁に更新されており、学校の情報が効果的に外部に発信されている」 評価指数 8.4 以上</p> <div data-bbox="2190 310 2703 632"> <table border="1"> <caption>ホームページの更新</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>更新指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>8.4</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>7.7</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>8.4</td> </tr> </tbody> </table> </div>	年度	更新指数	H26	8.4	H27	7.7	H28	8.4												
年度	更新指数																					
H26	8.4																					
H27	7.7																					
H28	8.4																					
<h3>生徒課</h3>	<p>○生徒課内にHP 係を設置し、部活動・生徒会行事のHPを充実させる。</p>	<p>○生徒会行事については、行事終了後速やかにアップした。</p> <p>○各部活動(運動部・文化部)については、固定ページの更新1回、投稿を1回以上実施した。</p>																				
<h3>広報担当</h3>	<p>○広報活動計画を策定し、教職員の周知するとともに組織的・計画的に広報活動を実施する。</p> <p>○中学生等に、年間広報活動予定を配布する。</p>	<p>○全科、定員を充足した。</p> <div data-bbox="1745 814 2475 1253"> <table border="1"> <caption>入学者数の推移</caption> <thead> <tr> <th>学科</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通科</td> <td>110</td> <td>120</td> <td>111</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>園芸科</td> <td>40</td> <td>33</td> <td>40</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>家政科</td> <td>38</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table> </div>	学科	H25	H26	H27	H28	普通科	110	120	111	-	園芸科	40	33	40	-	家政科	38	40	40	40
学科	H25	H26	H27	H28																		
普通科	110	120	111	-																		
園芸科	40	33	40	-																		
家政科	38	40	40	40																		